

科 目 名	老年看護学概論	単位数	1	時 間 数	30
講 師 名	専任教員	実務経験	有	履修年次	1 年
科目の概要	老年期にある対象の特徴を理解し、人口の高齢化が地域社会に及ぼす影響や医療や看護における課題について学習する。また高齢者が自立した生活をするために社会保障や高齢者を支える家族の理解を深め老年看護の目的を学習する。				
学 習 目 標	1 高齢者の身体的・精神的・社会的特徴がわかる 2 高齢者のもつ多様性(経験の意味、価値など)がわかる 3 高齢者の保健・医療・福祉の動向と課題がわかる 4 高齢者の生活を維持するための保健・医療・福祉対策と支援ケアシステムがわかる 5 高齢者の人権と看護の倫理原則がわかる 6 老年看護の目標や看護のはたす役割がわかる				
授 業 計 画	学習内容		授業方法	時間	担当
	1. 老いるということ、老いを生きるということ 1) 老いとは 2) 加齢に伴う身体的・精神的機能の変化 3) ライフステージとしての老年期		講義	4H	専任教員
	4) 高齢者の模擬体験		演習/レポート	3H	
	5) ライフストーリーのグループワーク		グループワーク	2H	
	6) ライフストーリー発表		発表	3H	
	2. 老年保健・医療・福祉の動向 1) 高齢社会の実態 2) 高齢化が地域社会に及ぼす影響 3) 高齢者医療の動向と保健活動 4) ソーシャルサポートシステム		講義	3H	
	5) 保健医療福祉システムの構築 6) 介護保険制度 7) 高齢者を支える職種と活動の多様化		講義 演習	2H	
	8) 主な保健医療福祉施設について調べる		調べ学習	2H	
	主な保健医療福祉施設の発表		グループ発表	3H	
	3. 老年看護と看護倫理 1) 高齢者の人権と倫理問題 (1) 権利擁護(アドボカシー) (2) 身体拘束 (3) 高齢者虐待 (4) 高齢者差別 (5) 自己決定権 (6) 倫理(高齢者の選択)		講義 ナーシング チャンネル	4H	
	4. 老年看護の原則と目標		講義 DVD	3H	
	評 価 方 法	筆記試験			1H
テ キ ス ト	・系統看護学講座 専門分野 老年看護学(医学書院) ・国民衛生の動向 厚生統計協会				
参 考 文 献	DVD、「胃瘻という選択、しない選択」				
担当教員からのメッセージ 老年者の特徴を理解するために疑似体験をします。また、老年者が生きてきた歴史を想起し、今を生活している老年者の価値観を考えられる洞察力を養う一つの方法として、実際に高齢者にインタビューをしてライフストーリー作成します。老年者のもつ多様性を理解しましょう。					

科 目 名	老年者の健康の維持・増進	単位数	1	時 間 数	15
講 師 名	専任教員 病院看護師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	加齢や障害の程度に応じた老年看護の実際がわかり、高齢者に対する基本的な日常生活援助を学ぶ。また、老年看護に特有な看護技術を学ぶ。				
学 習 目 標	1. 高齢者の特徴をとらえ健康の維持・増進のための援助方法、老年看護の役割と機能がわかる 2. 老年看護に特有な看護技術がわかる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 高齢者に対する基本的な日常生活援助 1) 基本動作と環境調整	講義・事前課題	2 H	専任 教員	
	(1) 転倒・転落・外傷予防	演習・事前課題	2 H		
	2) 食事 3) 排泄	事例・演習	2 H		
	4) 清潔・衣生活 5) 活動と休息 6) コミュニケーション	講義	3 H		
	2. 老年者に特有な看護技術 1) 摂食・嚥下障害のある患者の看護	事前課題 講義・演習	2 H	病院 看護師	
	2) 看取り時の看護 (1) 死後の処置 (2) エンゼルケアメイクの実際	講義・演習	2 H		
	3. 老年看護の役割と機能 1) 老年看護の援助の基本 2) エンドオブライフケア、 アドバンスケアプランニング	講義	1 H	専任 教員	
評 価 方 法	筆記試験			1 H	
テ キ ス ト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院)				
参 考 文 献	・ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 (メディカ出版) ・ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 (メディカ出版) ・イラストでわかる高齢者のからだと病気 (中央法規)				
担当教員からのメッセージ 老年者とはどんな特徴がありますか。老年看護は老化を考慮した援助を抜きにはできません。しっかり老年者の特徴を理解していきましょう。					

科 目 名	老年者の健康障害の特徴と看護	単位数	1	時 間 数	30
講 師 名	専任教員 病院看護師	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	老年看護概論で学んだことをベースに、加齢による変化を学ぶ。また、高齢者に多い健康障害の特徴、検査・治療を受ける高齢者の看護、健康障害をもつ高齢者の看護の方法を学ぶ。				
学 習 目 標	1. 高齢者に多い健康障害の特徴と症状に対する援助方法がわかる 2. 高齢者の検査・治療に対する援助方法がわかる 3. 老年期に多い健康障害を持つ高齢者に対する看護の方法がわかる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 高齢者に多い健康障害の特徴 1) 身体の高齢変化とアセスメント 2) 高齢者総合機能評価	講義	2H	専任 教員	
	3) 各症状に対する看護 ①発熱②痛み③掻痒④脱水⑤嘔吐⑥浮腫⑦倦怠感	講義	2H 2H		
	⑧褥瘡(予防とケア)	演習	2H		
	4) 老年症候群、フレイル、サルコペニア ロコモティブシンドローム、廃用症候群	講義	2H 2H		
	2. 検査・治療を受ける高齢者への看護	講義	2H		
	3. 健康障害を持つ高齢者に対する看護の方法 1) 脳卒中 2) 心不全 3) 慢性閉塞性肺疾患 4) パーキンソン病・パーキンソン症候群 5) 肺炎	講義 調べ学習 発表	2H 3H	専任教員 病院 看護師	
	6) 認知症	DVD 講義 講義	3H 2H 2H		
	7) うつ病・せん妄のある高齢者の看護	講義・事例 演習	3H	専任 教員	
評 価 方 法	筆記試験			1H	
テ キ ス ト	・系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) ・系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)				
参 考 文 献	・イラストでわかる高齢者のからだと病気 (中央法規)・DVD「長いお別れ」				
担当教員からのメッセージ 加齢による変化を学ぶ。また、高齢者に多い健康障害の特徴、検査・治療を受ける高齢者の看護、健康障害をもつ高齢者の看護の方法を学んでいきましょう。					

科 目 名	健康障害のある老年者の事例展開	単位数	1	時 間 数	15
担 当 教 員	専任教員	実務経験	有	履修年次	2 年
科目の概要	この科目では、高齢者が疾患や老化によって生活に支障をきたす姿を理解し、看護者としてどのように援助したらよいかを事例を通して学ぶ。具体的には高齢者に頻発する大腿骨頸部骨折をおこした高齢者の事例を看護過程を使い看護計画を立てる。				
学 習 目 標	1. 老年期の特徴、大腿骨頸部骨折の病態・看護がわかる 2. 事例の看護計画が立てられる 3. 発表意見交換を通し、事例の看護を深めることができる				
授 業 計 画	学習内容	授業方法	時間	担当	
	1. 老年期の特徴、大腿骨頸部骨折 （病態・治療・看護）についてテスト 2. 事例学習のオリエンテーション 1) 学習内容 2) 科目の概要・ねらい 3) 学習目標 4) 個人ワークの進め方 5) グループワークの進め方 6) 発表について	小テスト オリエンテーション 個人ワーク	2H	専任 教員	
	3. 「在宅療養していた高齢者が大腿骨頸部骨折をおこして手術をうけた事例」の看護計画の立案 1) 個人で具体策まで作成し提出	個人ワーク 個人評価	3H		
	2) グループワークで全体像・看護目標・問題点・具体策を立案 3) 発表準備	グループワーク グループ評価	6H		
	4. グループごとに分かれて発表 質疑応答 5. まとめ	発表 質疑応答	2H 1H		
評 価 方 法	小テスト：10 点 個人評価：20 点 グループ評価：10 点 筆記試験：60 点			1H	
テ キ ス ト	・系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 （医学書院） ・系統看護学講座 専門分野 老年看護学 （医学書院） ・系統看護学講座 専門分野 老年看護・病態・疾患論 （医学書院）				
参 考 文 献	整形外科ナースの必須看護技術／整形外科疾患病態生理と術前術後ケア （メディカ出版） 病気がみえる⑪運動器・整形外科 （メディックメディア）				
担当教員からメッセージ 高齢者の看護が、事例からできるだけイメージできるようにしたいと思います。また、事例から老年期の特徴、老年期に多い大腿骨頸部骨折の病態・看護を理解し、必要な看護を導けるような視点づくりをねらっています。					